

2026年6月18日

各位

株式会社 北海道銀行

北海道銀行と北洋銀行による税公金収納・取りまとめ業務の共同化について

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二、以下「当行」）は、株式会社北洋銀行（頭取 津山 博恒、以下「北洋銀行」）とともに、税公金収納・取りまとめ業務の共同化を進める運びとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

税公金収納・取りまとめ業務（以下、本業務）は、地域社会の維持・発展に不可欠な業務である一方、両行においては、事務負担やシステム維持・更新費用が大きく、人口減少が進む中における持続可能なサービス体制の構築が共通課題となっていました。本業務のような非競争分野での「事務・システムの共同化」は、両行が地域金融力を発揮していくために必要不可欠な環境整備と判断し、共同化を決定いたしました。

当行では引き続き、地域金融力の更なる発揮に向けて、持続可能な金融サービス提供力の強化に取り組んでまいります。

記

1. 概要

対象業務	国庫金・道市町村税等の納付に係る収納済通知書の分類・集計・送付業務
実施予定日	2027年4月12日（月）
業務フロー	<ul style="list-style-type: none"> ● 両行の営業店等で収納した税公金等の収納済通知書を北洋銀行事務センターに集約し、北洋銀行と共同で構築する新しい税公金収納システムを使用して分類・集計いたします。
共同化のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 両行が同一拠点で本業務を実施することで、従来両行の事務拠点間で実施していた収納済通知書の受け渡しの負担が軽減します。また、本業務を1か所に集約して対応することで重複する業務の効率的な運用が可能となります。 ● 両行が共同でシステム投資・運用を図っていくことで、各行のコスト負担を軽減することが可能となります。

2. 該当するSDGsの目標

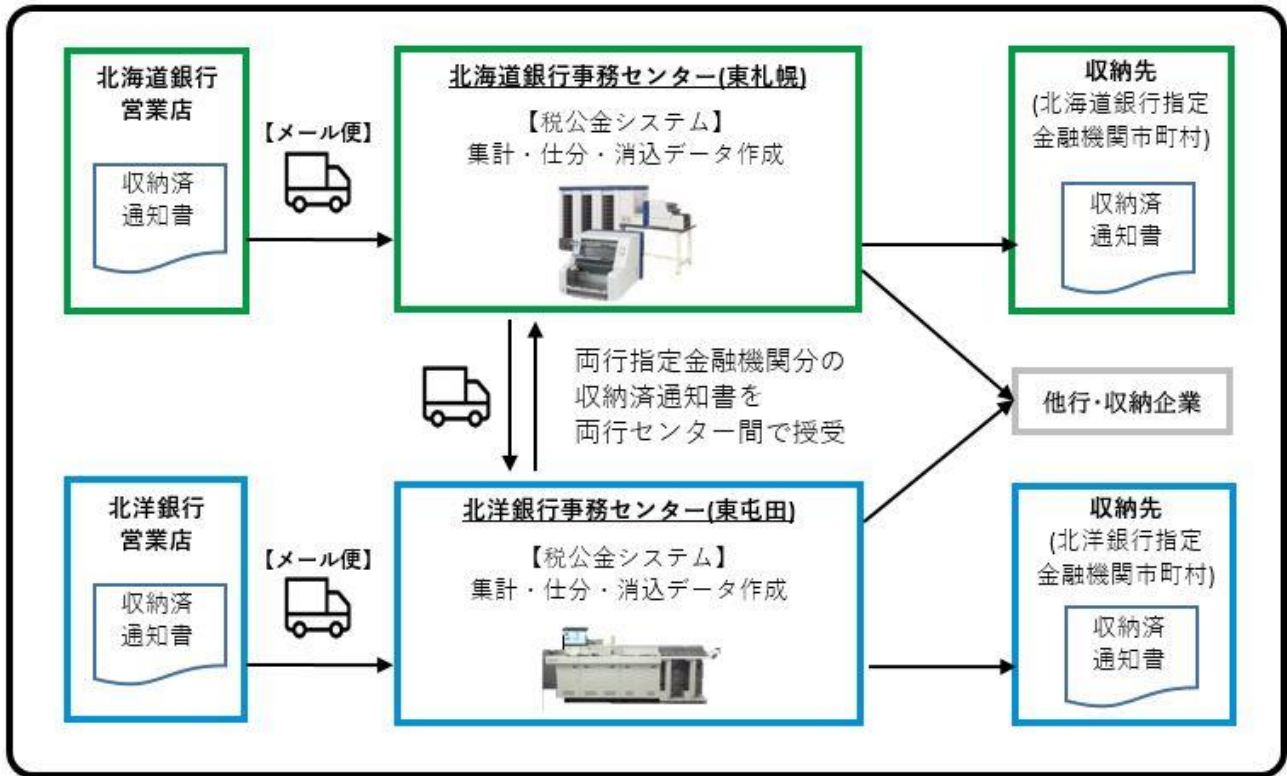


SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

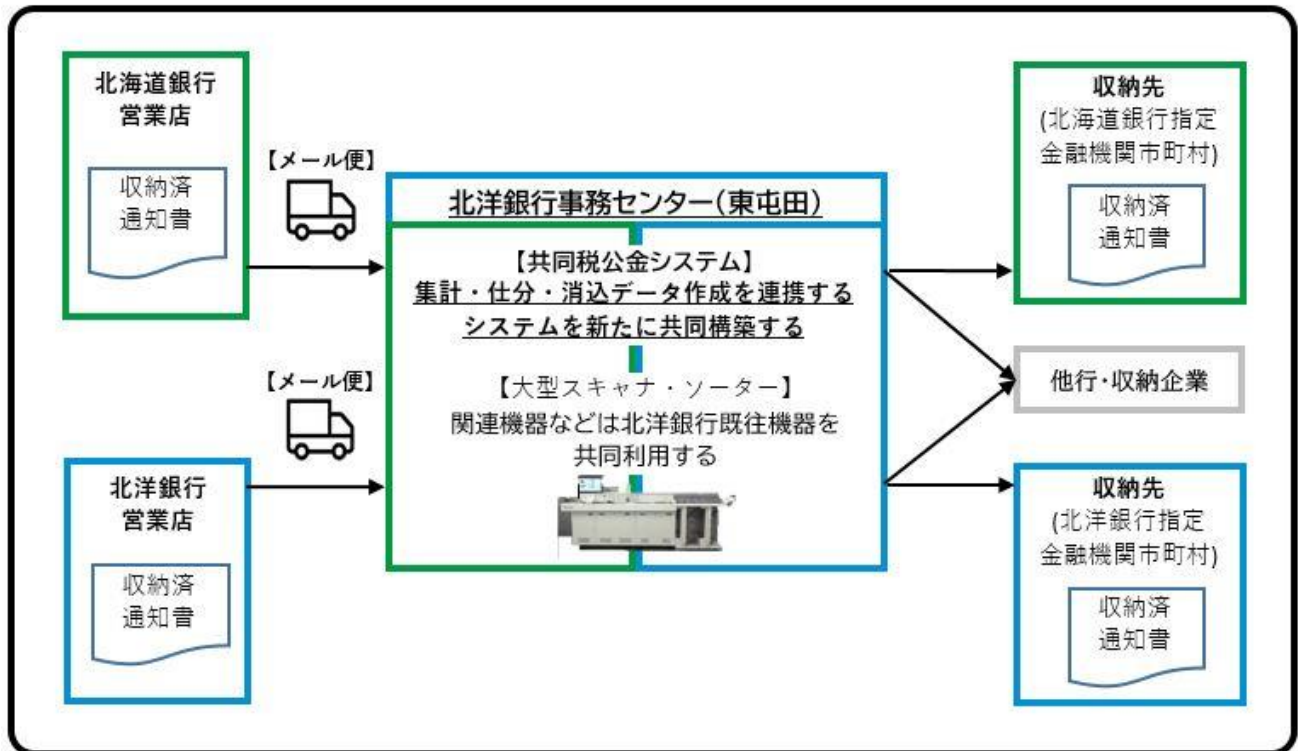
以上

業務フロー図

【現状】



【本件実施後】



<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行 総合事務部 秋元・森 Tel(011)815-1196
 広報CSR室 坂野・石水 Tel(011)233-1005